

# ユニットエイドと日本の歩み： ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの実現に向けて

ユニットエイドは日本政府の協力により、パンデミックの予防、備え及び対応強化を視野に入れたユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の達成、国際保健安全保障のための強靱なグローバルヘルス・アーキテクチャー支援、持続可能な開発目標3 (SDG 3: すべての人に健康と福祉を) の達成を目指しています。

主要な感染症との戦いにおける国際的なリーダーとして、日本は2020年12月に正式にユニットエイドの執行理事会に参加しました。日本はユニットエイドの5番目に大きなドナーであり、命を救うイノベーションに対してこれまでに1,952万米ドルの貢献をしました。

ユニットエイドは、医薬・医療品が必要とする人々に届くことを阻む要因を特定し、それを解決する製品や活動に投資し、市場障壁を払拭します。アクセスと価格の問題をユニットエイドが解決し、各国やパ

ートナー組織・団体の協力で供給対象と量を拡大することで、グローバルヘルス課題の達成が迅速に進められます。ユニットエイドが支援して得られた革新的な診断テスト、医薬・医療品は現在100か国以上で取り入れられています。

## 主な成果



毎年3億人 (含、子供**5000万人以上**) がユニットエイドの支援による**医薬・医療品**を使用



**2006年以降**、**100超**の**医薬・医療品**を導入



ユニットエイドのアプローチにより**グローバルヘルス目標到達を3年間短縮可能**に



価格低下と効率向上により、**2030年までに80億米ドル**の節約

## ケーススタディ： 薬剤耐性結核に苦しむ子供たちのための初めての治療薬

南アフリカ、ケープタウンのチャド君。5歳の時に多剤耐性結核の診断を受けました。以前は小児治療薬がなく、大人用錠剤を看護師が砕き、投与量も推測で与えていました。子供たちは苦みの強い薬を嫌がり、その上誤った投与量のせいで多くの子供は、病気が長引いたり、命を落とすことも。

ユニットエイドの支援で小児用多剤耐性結核治療薬が市場導入されました。フルーツ味の分散性錠剤で、チャド君のような子供たちにとって服用しやすいため、治療を完遂して結核を完治し、健康な生活を送れるようになりました。

写真: Stellenbosch University/Unitaid



ユニットエイドが取り組むグローバルヘルス課題  
保健システム強化と保健関連グローバル目標達成に向けた横断的分野



HIVおよび重複感染症



結核



マラリア



女性と子供の健康



グローバルヘルス緊急事態



医療用酸素



地域製造



気候と健康



ユニバーサルヘルスカバレッジ

結核

結核は新型コロナウイルス感染症に次ぐ感染症による死因の第2位です。死亡者数はHIVとマラリアを合わせた数を上回ります。

結核は予防や治療が可能です。ユニットエイドは、人々が結核の発病や重症化により死に至ることのないよう、最新の予防薬や治療薬、また検査にアクセスできるように取り組んでいます。

主な功績:



多病原体診断テスト機器が開発され、結核と同時に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を含む新しい病原体の検出が可能に。

1<sup>st</sup>

初の小児用結核薬が登場。

1<sup>st</sup>

初の小児用多剤耐性結核予防治療が登場。

40%

より迅速で正確、かつ薬剤耐性特定可能な結核診断技術の価格が40%引き下げ。

医療用酸素

医療用酸素は代替のきかない救命医薬品です。しかし多くの低・中所得国では50%以上の医療施設で常備されておらず、酸素吸入が受けられないために命を落とす人の数は年間 2500万人 にのぼります。継続的な酸素供給システムは、保健システムの強化、UHC、パンデミックの予防、備え及び対応強化の基盤となります。

ユニットエイドと世界エイズ・結核・マラリア対策基金(グローバルファンド)は、コロナ禍の医療用酸素の深刻な供給不足に対処するため、ACT (Access to COVID-19 Tools) アクセラレータの一環として酸素緊急タスクフォースを立ち上げました。医療用酸素へのアクセス向上、生産拡大、価格交渉、および政府への技術的支援に10億ドル以上が調達されました。この重要な活動を継続するため、ユニットエイドとグローバルファンドはグローバル医療用酸素アライアンス(Global Oxygen Alliance: GO2AL)を共同創設し、共同議長を務めています。このアライアンス(連携)には19の保健関連パートナーや市民団体、コミュニティの代表が参加しています。

**写真:** ユニットエイドは、新生児と幼児を対象とした、先進的で低コストの酸素治療機器2種類を市場に導入するための支援を行いました。1つ目は酸素ブレンダー（乳幼児に適量の酸素を提供する機器）。2つ目はバブル持続陽圧呼吸器（bCPAP・呼吸困難の新生児に有効なデバイス（右写真））です。  
© Vayu Global Health Innovations/Unitaid



## 主な功績



コロナ禍の酸素緊急タスクフォースにより、**液化酸素の価格が22%、シリンダーおよびシリンダー充填の価格が43%削減。**

**1st**

各国の医療酸素計画策定を支援する目的で、**2024年セネガルにおいて、初の「酸素への道: 国家酸素スケールアップ・フレームワーク」会議開催。**

## グローバルヘルス・アーキテクチャーにおける重要なパートナー

HIV、結核、マラリアなど病気への対応や、UHC達成には、まずはより良質、より迅速で費用対効果の高い医薬・医療品や診断機器が求められます。このエリアで、ユニットエイドの働きが必須となります。革新的なアプローチをとることにより、私たちはグローバルヘルスに関わる全ての分野において、より迅速により多くの人々に医療支援を届けることを担っています。グローバルファンドとの共同研究によれば、ユニットエイドが効果的で適正価格の製品開発をスピードアップさせることによりグローバルファンドによるHIV、結核、マラリア終息の目標達成を3年以上加速させました。

研究者、産業界、保健関連機関といった様々なパートナーを結びつけることで、個々の力の集合を遥かに超える成果が得られます。例えば 医薬品特許プール Medicines Patent Pool (MPP・ユニットエイドが2010年に設立) との協働により、ドルテグラビル (HIV治療薬)、その他のジェネリック版が誕生。これは資金の有効活用に貢献するものです。結核、マラリア、シャーガス病では、ユニットエイドはグローバルヘルス技術振興基金 (GHIT) との協力で、治療薬の研究が開発段階までつながるための支援を行っています。さらに2024年、ユニットエイドは、グローバルヘルスへのインパクト投資活用に向けて日本が主導するイニシアチブ、グローバルヘルスのためのインパクト投資 (Triple I for GH) に参加しました。



**写真:** 2024年、日本政府はケニア、タンザニアにおける液化医療用酸素の供給拡大計画に730万米ドルを拠出。保健システムの強化と将来のパンデミックへの備えを支援します。ザンビアのルサカにあるレビー・ムワナワサ大学病院のように、タンクに保管された液化医療用酸素は、他のシステム（例えば、圧力変動吸着プラント）によって生成される酸素よりも安定しており、取り扱いが容易で、単位あたりの価格も20%安いのが特徴です。© Eva Nathanson/Unitaid

## HIV治療新薬へのアクセスを3倍に加速させた事例：ドルテグラビル（DTG）

2014年から2017年 アクセス確保		2017年から2019年 供給拡大	2019年から現在 コスト削減	価格低下と効率化により、 2030年までに80億米ドルの節約
パートナー組織との協働でアクセスへの障壁払拭、低・中所得国へのDTG提供をわずか3年で実現。従来のHIV治療薬導入に比べ3倍の速さで導入		供給量拡大を支援するパートナー組織と連携、必要とする人々にDTGを提供	DTGは最高品質、最低コスト水準のHIV治療薬に	
DTG薬事承認	ユニットエイドの資金提供で女性、子供、結核患者への臨床検査。安全性確認される	ユニットエイドはグローバルファンドの協力で供給対象地域と量を拡大	1人当たり・1年当たりのコストが45米ドル未満に	
ユニットエイドがMPP設立。塩野義製薬の協力でジェネリック薬ライセンス確保	ユニットエイドは地域社会の協力で新薬のニーズ作りを推進	ユニットエイド主導の臨床検査結果を基にWHOがガイドラインと品質保証	低・中所得国で2400万人がDTG服用	

### 日本企業との協力

世界をリードする日本企業との協力のもと、ユニットエイドは成果と影響力を発揮してきました。臨床研究、品質保証、配給のオペレーティングモデル、ニーズ創出、サプライチェーン整備、医薬・医療品の価格調整と費用対効果の向上といった、生産段階からアクセスまでの様々な段階で投資します。

- 大塚製薬** ユニットエイドは多剤耐性結核（MDR-TB）治療薬デラマニドの開発に際し、臨床研究とオペレーショナル・リサーチに資金提供しました。
- 富士フィルムグループ** 富士フィルムグループが世界に先駆けて開発し、ユニットエイドが複数の分野で支援した、尿を用いた結核検査は、HIV陽性者が地域の診療所や家庭でも検査、診断を受けることができるため、これまで見落とされてきた感染者を発見、治療できるようになりました。

- 塩野義製薬** DTG（図を参照）に加え、ユニットエイドはMPPを通じ、塩野義製薬開発の長期作用型カボテグラビル（HIV感染予防注射剤）と、エンシトレビル（COVID-19治療薬）のジェネリックライセンスを確保しました。
- 住友化学** ユニットエイドは住友化学の開発する次世代の室内残効性スプレー剤スミシールドの開発に資金提供し、耐性菌対策に貢献しました。

### 今後の方針

ユニットエイドは、より有効な医薬・医療品を必要とする全ての人に、より迅速に届けるべく、様々なグローバルヘルス課題に取り組みます。日本政府との強力なパートナーシップのもと、ユニットエイドは引き続き保健システム強化とユニバーサル・ヘルス・カバレッジの実現に向けた取り組みを行っていきます。